



エビデンスと共に考える「いのち」と「暮らし」を豊かにする講座

第1回

ウイルス研究いろいろ

フィールドワークから臨床まで

渡辺 登喜子 氏
大阪大学微生物病研究所 教授

会場参加（※事前申込要） / オンライン参加（申込不要）

2023年4月28日（金）19:30～20:30

・会場：グランフロント大阪 北館 2F SpringX
・オンライン：YouTube Live

エビデンスと共に考える「いのち」と「暮らし」を豊かにする講座

2021～2022年度の2年間、大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER)は、『感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座』を通じて、パンデミックという緊急事態に対応する方法をお届けしてきました。今年度からは、パンデミック後の社会や将来のパンデミックをみすえて講座をリニューアルして、科学的根拠(エビデンス)と上手に付き合いながら、私たちの「いのち」と「暮らし」を豊かにする術(すべ)を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。大阪大学のさまざまな分野の研究者が、中学生から大人までを対象に、わかりやすく解説する全12回のプログラムです。

講座概要

ウイルスは非常に小さく、目で見えることはできません。そんな小さな存在であるウイルスが、時には人類に牙をむき、大きな問題を引き起こすことがあります。最近では、新型コロナウイルスがパンデミックを起こし、世界を大混乱に陥れています。私は、ヒトや動物に感染して、病気を発症するウイルス感染症(インフルエンザ、新型コロナ、エボラなど)の研究を行なっています。私たちウイルス研究者が、フィールドからラボ、そして臨床において、どのような研究を行なっているのかをご紹介します。

講師



渡辺 登喜子 氏

大阪大学微生物病研究所 教授
(兼)大阪大学CiDER 教授

1998年北海道大学獣医学部卒業、2002年同大学獣医学研究科博士課程修了(獣医学博士)、米国ウイスコンシン大学ポスドクトラルフェロー、ERATO河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト・グループリーダー、東京大学医科学研究所・特任准教授を経て、2020年4月より現職に至る。

▶ 4月28日開催講座の詳細・
会場参加申込・オンライン視聴はこちら<https://kc-i.jp/activity/chogakko/cider2023/index.php>

▶ 過去の講座はアーカイブで視聴できます。

<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/project/project01.html>主催 助成 CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)、一般社団法人ナレッジキャピタル
日本財団

問い合わせ 大阪大学感染症総合教育研究拠点 事務局(総務担当)

☎ 06-6879-4903

✉ kansensyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp

🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>

CiDER

